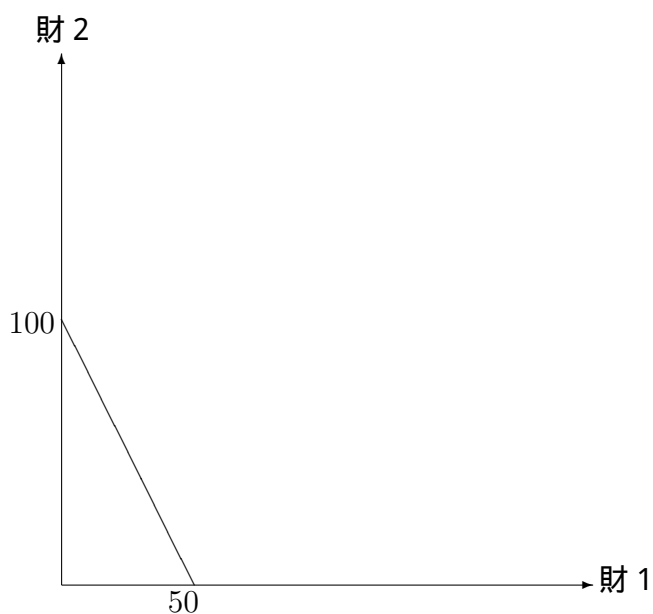


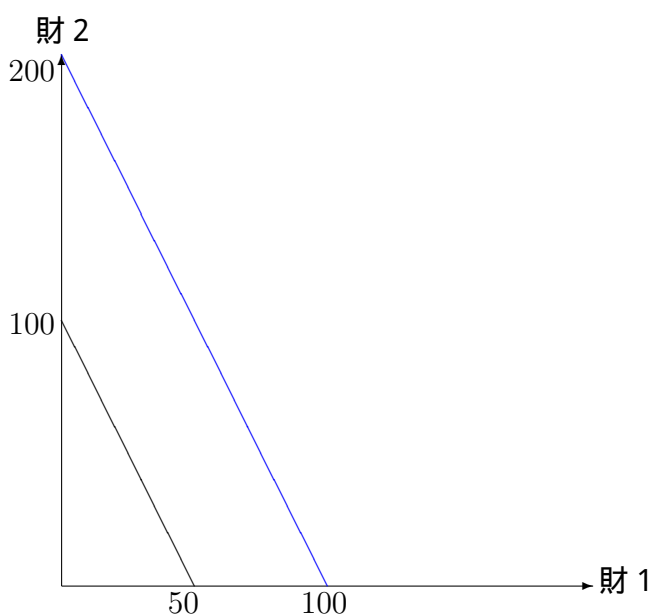
# 2016年度 ミクロ経済学初級I 第1回演習解答

グレーヴァ香子担当クラス

1. 財1に所得を全て使うと50個、財2に全て使うと100個買える。これらを直線で結んだ部分とその下の領域。

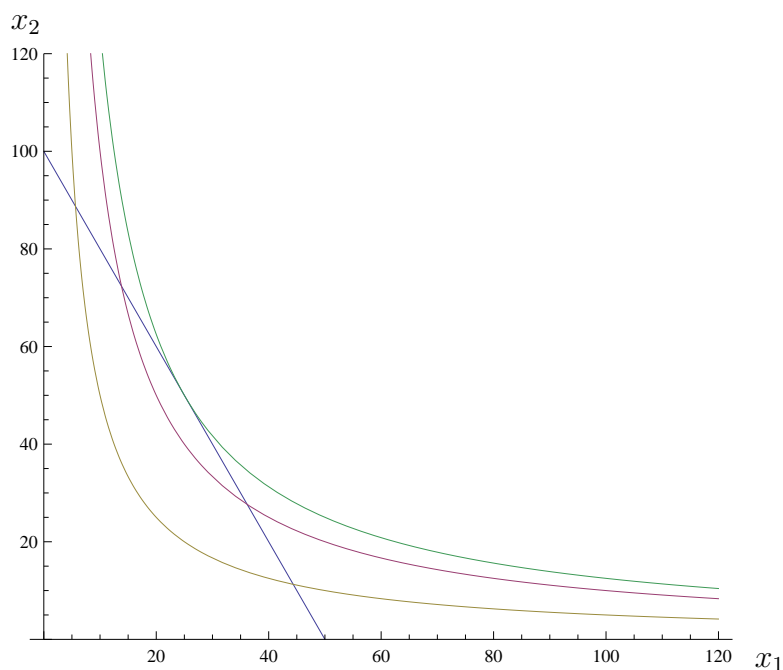


2. 今度は財1に所得を全て使うと100個、財2に全て使うと200個買える。これらを直線で結んだ部分とその下の領域。(青い線とその下。)



3. 財1に所得を全て使うと50個、財2に全て使うと100個買えることはまったく変わらない! したがって予算集合も問い1とまったく変わらない。

4. 4 5 度線について対称な曲線群になる。右上に行くほど好ましい。( Mathematica で描いてみた。)



限界代替率は

$$u(x_1, x_2) = x_1 \times x_2$$

を全微分して

$$x_2 dx_1 + x_1 dx_2 = 0.$$

これを变形して

$$MRS_{12}(x_1, x_2) = -\frac{dx_2}{dx_1} = \frac{x_2}{x_1}.$$

価格比は

$$\frac{p_1}{p_2} = 2.$$

ゆえに

$$\frac{x_2}{x_1} = 2 \Rightarrow x_2 = 2x_1$$

を予算制約式

$$200x_1 + 100x_2 = 10,000$$

に代入して

$$200x_1 + 200x_1 = 10,000 \Rightarrow x_1^* = 25$$

ここから  $x_2^* = 50$  となる。

まとめて、予算制約内でもっとも好まれる消費ベクトルは  $(25, 50)$  である。